

こころまるだより

第8号 2025年10月発行

あか は ね きょうどう ぼ きん 赤い羽根共同募金ってなあに？



今回は赤い羽根共同募金について伝えるよ。めくってみてね！

この表紙のイラストは、福祉サービスを利用している方が描いたものです。

那須塩原市社会福祉協議会
 Mascot Character
 こころまる



社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会

営業中

わたしのまちの福祉協力店

中学生がインタビュー!!

パン・アキモト 石窯パン工房きらむぎ

東那須野中学校の生徒3名が「パン・アキモト 石窯パン工房きらむぎ」の店長である土田さんに取材をしました!!

質問① 「パン・アキモト 石窯パン工房きらむぎ」について紹介してください。

コンセプトは「笑顔集まるパン市場」です。パンを食べたお客様が笑顔になり、地域の食材を活用して農家さんが笑顔になり、働くパン職人が笑顔で働けることを目指しているお店です。

質問② パン・アキモトではどのような福祉活動をしているか教えてください。

現在は、パンの缶詰（救缶鳥）を能登半島やウクライナなどの被災地へ届けています。また、「パン耳プロジェクト」といい、毎月3のつく日に食パンを買っていただくと、その売上の3.3%を被災地に寄付しています。さらに、被災地へ炊き出しの参加、市内の子ども食堂へパンの寄付、糖尿病の方もパンを食べて楽しめるような大麦を使用した低糖質のパンを作っています。

質問③ 福祉活動を広めることになったきっかけを教えてください。

パンの缶詰を開発したことが福祉活動を広めるきっかけとなりました。1995年に阪神淡路大震災が発生した際、被災地へパンを届ける食料支援をしていました。しかし、提供したパンが被災地に到着する頃にはカビが発生し処分になってしまう状況でした。その教訓を生かし、また、被災者の方から「保存のきくパンは作れないか？」との要望に応えるため、商品開発の試行錯誤を繰り返し、長期保存できるパンの缶詰を完成させることができました。

質問④ 福祉活動を通じて、人々にどんな思いを届けたいですか？

被災地で不安を抱えている方へパンの缶詰をいち早く届けると同時に安心を届けたいです。また、地域に根差したパン屋として、地元農家さんから食材等を購入し、今後も地域の方々とながっていきたくと思っています。この思いや取り組みを継続していく中で、たくさんの地域の方々とのつながりをもつことができました。これからも子ども達やお客様の声を行動力に変え、地域貢献をしていきたいです。

片目で地元をみて、片目で世界をみる。広い視野を持とう！



救缶鳥にはメッセージを書ける部分があるよ。お腹を満たすだけでなく、心を満たす役割を持っているよ。

左から：大場先生、土田店長、鈴木さん、小林さん、江口さん、須藤先生

地域共生社会振興基金寄付者一覧 (2025年9月1日現在) (敬称略)

- 国際医療福祉大学病院
- 那須塩原市一般廃棄物処理協同組合
- そすいの郷ふるさとにしなす産直会

地域共生社会振興基金とは、地域共生社会の実現のため、那須塩原市社会福祉協議会が設置している基金です。

発行 社会福祉法人 那須塩原市社会福祉協議会
住所 〒329-2705 那須塩原市南郷屋5丁目163番地 (健康長寿センター内)
TEL 0287-37-5122 FAX 0287-36-8710
ホームページアドレス ns-shakyou.jp/ Eメールアドレス info@ns-shakyou.jp
Facebook https://www.facebook.com/nasushiobarashakyou/



